

京都府宇治警察署へ感謝状を贈呈

～運転者すり替えによる保険金詐欺未遂事件検挙へ感謝の意～

日本損害保険協会近畿支部（委員長：柿木 一宏・東京海上日動火災保険株式会社専務代表取締役）では、5月14日（水）に京都府宇治警察署（井上 禎敬署長（警視））に対して感謝状を贈呈しました。

本件は、女性が起こした自損事故に際し、同乗の男性が女性の飲酒運転を隠蔽するため自身が運転していたと申告して保険金を請求しようとしたもので、迅速な捜査によって男性を犯人隠避（運転者身代わり）、女性を道路交通法違反（事故不申告）として立件いただいたことに対して感謝の意を表したものです。

宇治警察署で行われた贈呈式では、当支部京都損保会の井脇 太郎会長（東京海上日動火災保険株式会社京都支店長）から宇治警察署の交通課員に対して感謝状を贈呈し、事件検挙への謝辞を述べました。

また、感謝状贈呈にあたり、保険金の不正請求に対する当協会の取組みや、京都府の犯罪情勢等について、意見交換を行いました。

当支部は、今後も警察等と連携しながら、不正請求の撲滅に向けた活動に取り組むことで、損害保険事業の健全な運営を行ってまいります。



井脇会長（左）から交通課員（右）へ贈呈



左から、交通課長代理、交通課長、交通課員2名、井脇会長



集合写真



贈呈した感謝状